

震災復興・伝承みやぎルート



○震災復興・伝承みやぎルートは、県沿岸部を南北に縦断し、沿岸地域における漁業・海産物等の魅力を生かしつつ、東日本大震災の遺構や伝承施設等を巡るルートである。

○サイクルツーリズムを推進し、国内外からサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光による地域の活性化を目指すことを目的として、宮城サイクルツーリズム推進協議会を平成31年に設置し、活動を実施中。

宮城サイクルツーリズム推進協議会

- ・サイクルツーリズムを推進する取り組みの検討・実践(モデルルートの整備・変更、情報発信等)
- ・メンバー(国・県、宮城県警察、交通事業者、観光関連事業者・団体、自転車ユーザー等)

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車走行環境の整備

- ・路面表示(矢羽根・ブルーライン)や看板の設置により、サイクリストが安心・安全に走行できる自転車走行空間の整備を促進。



(主)気仙沼港線 魚町地区
矢羽根・ブルーライン ルート案内ビクト

○統一的なルート案内

- ・サイクリストにとって分かりやすいように、統一したカラーやデザインを用いた路面表示や看板を設置。

サイクルツーリズム推進のための取組

○休憩施設の充実

- ・サイクルステーション整備を推進し、休憩施設の箇所の充実を図る。

○移動サポート体制の構築

- ・運送会社等との連携により、輸送サービス等の充実化を図る。
- ・レンタルサイクルステーションとの連携により手軽にサイクリングを楽しめるようにする。

○情報発信

- ・ルート、イベントの周知のため、各自治体と連携し、サイクリングマップやイベント等掲載したホームページを作成し周知する。
- ・持ち運びしやすいルートマップを作成し、拠点施設と連携しながら配布していく。
- ・外国人観光客も利用できる環境やルートマップを作成していく。



イベント開催(例)
(ツールド・東北)



観光施設との連携
(かわまちでらす 関上 名取市)



震災遺構伝承館
(気仙沼向洋高校)



【広域図】

全長約280km

(一)大島浪板線 気仙沼大島大橋



(一)大島浪板線 鹿折地区



(主)塩釜七ヶ浜多賀城線 花湊浜地区

凡例	
基幹ルート	—
ゲートウェイ	△
サイクルステーション	○
主な震災遺構	★
※サイクルステーション、ゲートウェイは主な候補箇所	